

令和4年度 事業計画書

公益財団法人 神奈川県予防医学協会

令和 4 年度事業計画書

基 本 方 針

新型コロナウイルス感染は日本の社会、経済に大きな打撃を与え続けています。協会の事業も同様です。この間、社会環境はアナログからデジタル、IT, ICT などへの移行を加速させました。

一方でリモートの浸透、外出、会食、施設や病院の面会の抑制は感染の機会を減らしましたが、コミュニケーションの機会を減らし、引きこもりを招き、健康の維持に懸念を招いています。超高齢社会にあってはなおさらです。

協会はこの時代背景にあって健康の維持、増進に寄与するため、より一層 ICT 活用を推進し、質の高い事業運営に邁進するため、これまでの運営にとらわれない新たな事業展開を目指し令和 3 年度から 5 年度に向け、IT 戦略を中心とした第 8 次グリーンプラン（中期計画）を策定しました。

第 8 次グリーンプランでは今の社会経済の動向、保健行政の動向を踏まえ「超高齢社会を迎え、誰もが『いつまでも健康でありたい、できるだけ介護のお世話にならないようにしたい』という願いに応え、寄り添っていくことを社会的使命と捉え、多様なニーズに合った事業展開と IT 技術を活かした業務推進を図ることにより新たな総合健康支援機関として役割を果たしていく」ことを基本テーマとして掲げました。2 年目となる 4 年度は取り組みを加速していかなければなりません。

取り組むべき主要な課題は次のとおりです。

I. IT を駆使した受診者サービスの向上

1. より少ない負荷で精度の高い検査、確かな分析をもとにした、わかりやすい結果報告
2. 適切な分析にもとづいた健康支援、いつでも利用できる相談体制の整備

II. 新たな健診・検査事業の構築

1. 超高齢社会に沿った高齢者に優しい健診、健康支援の開発
2. 早期発見、治療に向けた新生児マススクリーニングの拡大

III. ICT を活用した事務作業の効率化、労働生産性の向上

IV. 外部認証制度（SDGs 等）の取得と脱炭素社会に向けた取り組みの推進

協会は、こうした課題を念頭に置き、常に業務の質の管理を徹底し、新たな事業展開、ビジネスモデルの構築を図り、中期計画の実行を進め、役割を果た

してまいります。

I 健診・検査及び予防医療事業

事業収入の回復・拡大を目指し、各分野において予防医学活動を展開していきます。顧客の動向や国の施策などを迅速に捉え、協会事業に反映させ、企画提案を基本とした渉外活動を推進していきます。

1 地域保健分野

地域保健の骨格をなすがん検診は、国の第3期がん対策推進基本計画（2017～2022）、神奈川県のがん対策推進計画（2018～2023）に基づき、国、県、市町村のがん対策に協力します。科学的知見に基づく質の高いがん検診の実施、受診しやすい環境の整備、受診率向上対策を推進します。

2 産業保健分野

渉外方針、渉外戦略をもとに新規団体及び新規受診者の獲得及び既存団体、既存受診者に対しては新規事業、新規項目の追加、また、一般健診、生活習慣病健診から人間ドックへの変更など収入増に努めます。労働衛生に関する団体や大学などと連携強化を図り、協会の認知度を高めることで総合健康支援機関としてのブランド力を高め、事業の拡大と運営の安定化を目指します。

3 学校保健分野

学校保健安全法に基づく児童生徒の健康保持増進に向けて、各種検診・検査の精度向上と効率化を推進します。受診対象者情報をWeb経由で受領する仕組みの運用、心電図検査のデジタルファイリングの拡大などに取組み、事務処理の効率化と個人情報保護の強化に努めます。

4 母子保健分野

行政及び神奈川県医師会の指導のもとに母子保健分野でのスクリーニングセンターとして、先天性代謝異常等検査の内容充実、検査方法の改良、検査技術の向上、データ管理の充実、陽性者の追跡調査などに協力します。

今年度より開始する有償の拡大スクリーニング検査（重症複合免疫不全症（SCID）及び脊髄性筋萎縮症（SMA））の円滑な実施を目指します。

5 環境保健分野

作業環境調査は、適切な作業環境測定ツールを用いて事業場のニーズに答えるとともに、測定結果を特殊健康診断と連動させ、企業における化学物質の自律的管理の推進を支援します。簡易専用水道検査は信頼される検査を通じて、地域の安心、安全な飲料水を確保に努めます。また、ISO9001の品質管理に基づき、検査品質の向上と顧客満足度の高いサービスの提供に努めます。

Ⅱ 事業計画

事業収入確保と採算性の向上を図ることで運営の安定化を目指します。各部署が専門性を活かした取組みを検討し、実現に向け推進してきます。

1 健診等事業拡大に向けての対応

アクティブ・エイジング事業として、高年齢労働者に対する健康支援メニューを構築し、新たな事業展開を推進します。

LINKAI 横浜金沢地区をモデルとして中小企業に対する総合健康支援サービスの提供を推進し、健康診断、作業環境測定、保健相談事業、健康づくりなど協会事業の拡大を目指します。

2 中央診療所機能の有効活用

新たな健康サポートアプリを導入し、健康診断結果のみならず、健康情報の配信により健康意識の維持向上に繋げ、継続受診者の満足度向上と増加を目指します。健康診断受診後は、再検査、外来の受診勧奨を適切に行い、受診率向上に努めます。また他機関への受診希望者は専門医療機関への受診が望ましい場合は、適切かつ迅速な紹介を行うなどサポート体制の充実に努めます。

3 効率的な実施体制の確立

業務全体を効率的に実施する手段として、デジタルトランスフォーメーション（DX）を組み入れた処理手順に改めることにより、生産性の向上と全体最適な実施体制の確立を目指します。

また、蓄積された様々なデータを用いて分析・評価を加え、顧客提案型のビジネスモデルを構築することにより、事業の拡大と採算性の向上に取り組めます。

4 がん対策の推進、普及啓発活動

国の第3期 がん対策推進基本計画、神奈川県のがん対策推進計画に基づき、国、県、市町村やその関連会議と連携を強化し、がん対策に協力します。また、コロナ禍による受診控えで、がん検診の受診率は低下し、未発見のがんが増加しています。「ピンクリボンかながわ」活動、広報活動により予防啓発を行い、受診率の向上に寄与します。

5 広報活動の充実

公益法人として、県民の健康増進に寄与するために広報活動を展開します。「健康かながわ」のデジタル化とともに、総合健康支援機関ならではの特集を掲載し内容を充実させます。紙媒体のリーフレット類は電子化し、さらに動画コンテンツを充実させます。また、ホームページを充実させ、新たにメールマガジンやSNSを活用し、協会事業への認知を拡げます。

Ⅲ 運営管理計画

法令を順守し、社会的信用と信頼性の保持された事業運営を進め、協会の果たすべき役割をより一層果たすとともに事業を円滑に推進します。

1 人材の確保・育成

協会事業において、人材の確保・育成は最重要課題の一つであると考えます。

新たな発想を持って、事業運営に力を尽くせる職員が増えることが、協会事業の発展に直結すると言っても過言ではありません。人事戦略に基づき、事務系新卒職員の定期採用の再開や異業種の経験を持った人材を協会事業に活かす中途採用を積極的に行います。滞りがちであった人材の活性化を推進し、職員が新たな発想を持って業務に取り組む環境を整備します。

2 効率的な業務遂行

作業手順を遵守しつつも、常に点検・見直しを意識して取り組みます。

どの業務においても標準化を目指すことが、省力化・効率化につながります。

社会全体の事業構造の変化に呼応した健診体制を構築し、求められるサービスの提供が迅速に行える組織・運営体制を構築します。

3 機器及び施設の整備

効率化の手段としてのITツールの活用、効率化につながる機器の整備・更新、それらの費用対効果を常に検討したうえでの導入システムを強化します。

従来の施設構造や機器の在り方に固執することなく、効率化・最適化を目指した導入・配備を行います。

4 品質保証と信頼性の向上

ミス発生防止を目的に前年度より運用を開始した内部監査システムについては、今年度も全部署を対象に監査を行う取組みを継続します。

Ⅳ 健診等実施計画

健康診断等の準備から実施、結果報告、請求に至るまで協会事業における一貫した品質の向上と受診者や顧客に向けたサービスの向上を図ることで、安心・安全、そして、魅力あふれる総合健康支援機関を目指します。

1 受診サービスの向上

受診者が健診に求める多種多様な要望に応えるため「あなたの相談室」を活用し、受診者目線での対応により満足度向上を図ります。また、医療安全管理を重視して安心安全な健診の提供を行います。

I C Tの活用により、待ち時間を短縮し混雑緩和に努めます。要望の高まる女性医師の配置、プライバシーへの配慮などを行い、快適受診環境を提供します。

2 信頼性の高い健診実施体制の確立

事業品質システムの導入によるミス・クレームの削減と、受診者負担軽減と運用コスト軽減をもたらす健診現場のペーパーレス化・オンライン化を整備します。また、個人に合った健診支援を目指し、①血液検査や3D画像診断等のオプション検査の充実、②罹患率増加傾向の大腸がん検診の精密検査充実、③AI診断支援とリスク階層別オーダーメイド健診などを重点に推進します。

3 質の高い結果報告の提供

結果報告書の納期短縮及び正確な報告書の提供としては、データ処理全体の作業工程の平準化を行ない、年間を通じて安定的な報告処理態勢を構築します。

顧客ニーズに適合した報告書の作成としては、Q Rコードなどを活用し、受診者の健診結果に合わせた情報提供の充実を目指します。結果報告書のシンプ化、デジタル化を推進し、W e bによる健診結果の閲覧の仕組みを検討します。

4 新たな健診スタイルの提供

I C Tを活用した健診を具体化するため、W e bによる健康診断の予約、問診情報入力、結果閲覧といったデジタルで双方向な顧客との関係構築を目指します。さらに、対面からリモートへの世の中の動きに合わせ、非接触な健診スタイルの検討や各種センサーを用いた生活習慣病予防のサービス開発にも取り組みます。

V 調査・研究の推進

日常業務の課題を取り上げ、大学や研究機関などの指導と協力を得て予防医学に関する調査・研究を行い、その成果は、関係学会や研究会などで発表を推進します。なお、予防医学事業中央会における、令和5年度全国予防医学技術研究会の主催になる上で、今年度から発表内容についての検討を進めます。

＊（共同）は大学、研究機関などとの共同研究

1 呼吸器関係

① C T検診における肺がんの早期発見の研究

2 婦人科関係

① 乳がん検診二次検査における腫瘍の取り扱いについて

② マンモグラフィ及び超音波検査カテゴリーと乳がんサブタイプの関係について

3 循環器関係

- ① メタボリックシンドロームや高血圧をウェアラブルセンサー等を活用した効果的指導法の確立（共同）
- ② 生活習慣病とアミノ酸に関する研究（共同）
- ③ ウェアラブル血圧計に関する研究（共同）

4 がん予防関係

- ① がんのリスク分類とアミノ酸に関する研究（共同）
- ② P S A値と前立腺癌早期発見に関する研究（共同）
- ③ ピロリ菌感染の現状と変遷

5 健康管理・教育関係

- ① 健康診断（人間ドック）における早期発リウマチ患者の診断システムの確立及び同集団の関節リウマチ罹患率などの研究
- ② 採血合併症に関する研究
- ③ ME－BYO改善プログラムの効果の検討
- ④ 生活習慣病と健康経営
- ⑤ 特定保健指導品質管理における評価
- ⑥ 保健指導の前後のQ O Lの変化
- ⑦ 作業環境測定結果を取り込んだ特殊健康診断個人票

6 検査関係

- ① 塗料作業員への有機溶剤用パッシブサンプラーの改良
- ② 尿中マンガンをモニタリング指標とする溶接作業員の暴露評価

別表

令和4年度 健診検査等実施目標数

(単位：件)

健診検査等項目		4年度実施目標数	3年度実施見込数	増 減	(%)	移行分
地域・産業保健	1 胃 検 診 X 線 撮 影	54,100	21,200	32,900	255.2%	32,700
	2 胃 検 診 内 視 鏡 検 査	5,000	6,400	-1,400	78.1%	
	3 大 腸 が ん 検 診	87,000	50,600	36,400	171.9%	39,000
	4 子 宮 が ん 検 診	28,800	28,300	500	101.8%	2,000
	5 乳がんマンモグラフィ検診	22,400	22,300	100	100.4%	
	6 乳 が ん エ コ ー 検 診	7,400	7,600	-200	97.4%	
	7 子 宮 ・ 乳 が ん 検 診	0	4,000	-4,000	0.0%	
	8 肺 が ん 検 診	31,700	36,000	-4,300	88.1%	
	9 が ん を な く す 会	100	100	0	100.0%	
	10 一 般 健 康 診 断	257,000	208,000	49,000	123.6%	53,000
	11 総 合 健 診	0	55,000	-55,000	0.0%	
	12 特 殊 健 康 診 断	82,500	84,000	-1,500	98.2%	
	13 婦 人 健 診	0	0	0	0.0%	
	14 精 密 総 合 健 診	8,800	8,400	400	104.8%	
	15 健 康 つ く り 事 業	100	100	0	100.0%	
	16 歯 科 健 康 診 査	3,100	3,000	100	103.3%	
	17 そ の 他 の 健 診 検 査	32,900	29,000	3,900	113.4%	6,900
	18 保 健 相 談	600	600	0	100.0%	
	19 作 業 環 境 調 査	2,300	2,000	300	115.0%	
学校保健	20 心 臓 病 検 診	103,800	105,000	-1,200	98.9%	
	21 腎 臓 ・ 糖 尿 病 検 診	682,100	637,000	45,100	107.1%	
	22 糖 尿 病 検 診	0	637,000	-637,000	0.0%	
	23 貧 血 検 査	700	1,000	-300	70.0%	
	24 そ の 他 の 検 査	0	400	-400	0.0%	
母子保健	25 先 天 性 代 謝 異 常 等 検 査	53,100	57,000	-3,900	93.2%	
	26 拡 大 ス ク リ ー ニ ング 検 査	22,000	0	22,000	0.0%	
環境保健	27 簡 易 専 用 水 道 検 査	1,600	2,000	-400	80.0%	
その他	28 依 頼 検 査	3,700	4,000	-300	92.5%	
	29 健 康 教 育	280	280	0	100.0%	

※令和4年度からの健診検査等項目の変更点

* 地域・産業保健の「子宮・乳がん検診」及び「総合健診」をなくしました。

・ 「子宮・乳がん検診」は「子宮がん検診」及び「乳がん検診」でカウントするにしました。

・ 「総合健診」は「一般健診」「胃検診X線撮影」「大腸がん検診」「その他の健診検査」でカウントするにしました。

* 学校保健の「腎臓病検診」「糖尿病健診」を「腎臓・糖尿病検診」の表記にしました。

* 母子保健に「拡大スクリーニング検査」を追加しました。